

既設配管 再利用

お使いのエアコンから 入替えもスムーズ!

既設配管を洗浄なしで再利用できるから、埋込み配管でも工事は簡単です。
うるるとさららの場合は、埋設の既設配管には対応できません。
(加湿ホースが必要なため)

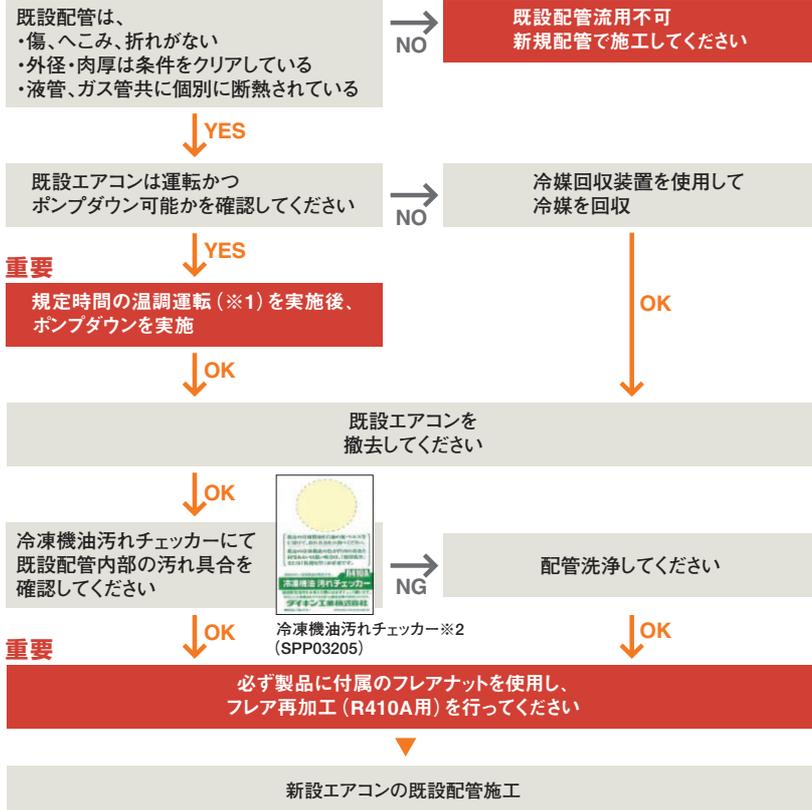
新冷媒機への既設配管流用について

HFC採用エアコンに、旧冷媒 (R22) エアコンの既設配管を流用する場合は、最大配管長まで洗浄なしで使用できます。

※使用可否については、配管内を「冷凍機油汚れチェッカー」で判定します。尚、既設配管内が極端に汚れている場合は、配管洗浄または、新規配管が必要です。※ルームエアコンでは、既設エアコン撤去の際、冷房運転を2.2~3.6kW:5分、4.0kW~:10分、マルチタイプ:30分を行い、そのままポンプダウンを行ってください。(マルチの場合には、全室運転ののちポンプダウンが必要です。)
※その他、フレアの再加工、配管肉厚、フレアナット等はJIS規格品をご使用ください。

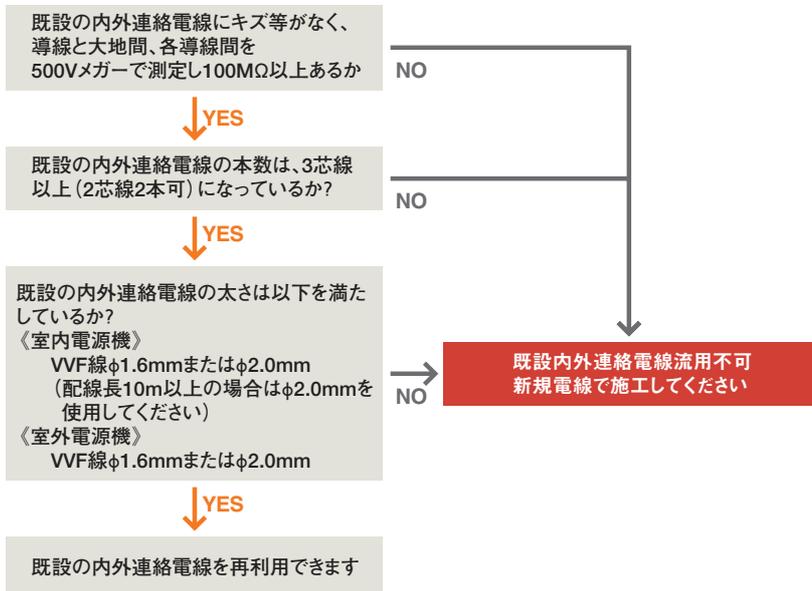
◎ 既設配管・内外連絡電線流用のご確認用フローチャート

《既設配管流用可否》



※1 冷房もしくは暖房にて下記時間運転してください。
2.2kW~3.6kW:5分、4.0kW~:10分、マルチ:全室運転で30分
※2 店舗・オフィスエアコンZEAS用を流用できます。
入手できない場合は、右下の「◎冷凍機油汚れチェッカー」を目安にご使用ください。

《既設内外連絡電線流用可否》



【冷媒配管の外径及び肉厚について】

配管、フレアナットは、必ずJIS規格品を使用してください。

- 冷媒配管の肉厚は、0.8mmのものを使用し、薄肉管 (0.7mm) は使用しないでください。
- 既設配管のフレア接続部は加工劣化を起こしていますので、必ず新たに再加工をしてください。
- フレアナットは、製品に付属のものを使用し、既設フレアナットは使用しないでください。(フレアナットは、φ12.7の対辺寸法がR22と異なります。)

呼径	外径 (mm)	肉厚 (mm)	フレアナット対辺寸法 (mm)
1/4	φ6.4	0.8	17 (17)
3/8	φ9.5	0.8	22 (22)
1/2	φ12.7	0.8	26 (24)

()内はR22用です

●R22とR410Aではガス管のサイズが一部異なります。

従来機 (R22)	液管	ガス管
~3.6kW	φ6.4	φ9.5
4.0kW~	φ6.4	φ12.7

新冷媒機 (R410A)	液管	ガス管
~5.6kW ※3	φ6.4	φ9.5
6.3kW~	φ6.4	φ12.7

※3 ハウジングエアコン5.6kW機種のガス管はφ12.7になります。

【既設配管の異径管接続可否について】

既設配管	液管	φ6.4	φ6.4	φ6.4またはφ9.5
	ガス管	φ9.5	φ12.7	φ15.9
~5.6kW ※3	◎	○	▲ ※4	
6.3kW~	△	◎	▲	

※3 ハウジングエアコン5.6kW機種のガス管はφ12.7になります。

- ◎ 標準接続
- 異径管継手による接続可能
- △ 異径管継手による接続可能ですが、冷房能力はダウンします。約1%/m
- ▲ 異径管継手による接続可能ですが、最大配管長、チャージレス配管長は短くなります。チャージレス配管長を超える場合は、20g/mの冷媒を追加充填してください。

※4 2.8kW以下の機種は接続不可
《既設配管の液管がφ6.4の場合》
最大配管長:20m、チャージレス配管長:10m
《既設配管の液管がφ9.5の場合》
最大配管長:15m、チャージレス配管長:5m

【配管洗浄について】

- 窒素加圧による洗浄も効果はありますが、確実な洗浄には冷媒配管洗浄装置のご使用を推奨します。
- 冷媒の大気放出による配管ブローは決して行わないでください。

◎ 冷凍機油汚れチェッカー

◎は冷凍機油汚れの目安です。既存の冷凍機油を白地の紙・ウエス等に付けて、汚れ具合をお調べください。既存の冷凍機油の色が円内の黄色と同等あるいは濃い場合は、「配管洗浄」または「新規配管」が必要です。
※劣化のない冷凍機油は無色です。